# 米倉教公の週間為替市場見通し

# 10/17 日週号

ドル/円予想レンジ 102.00 - 105.20 円

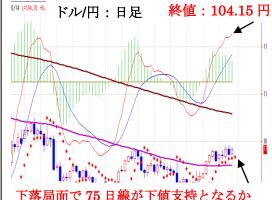
# 『市場の関心事は来年以降の米利上げへ』

#### ■前週の市場動向:ドル/円週足では3週連続の陽線引け

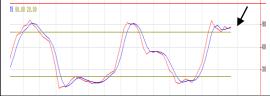
今週のドル/円の週足では、陽線引けと 3 週連続陽線となった。今年に入っ て2週以上陽線となったのは6回ある。そのうち2週連続陽線は4回、3週 連続1回、4週連続陽線が1回である。そのため、今週の動向が非常に重要 となる。週明けは露プーチン大統領が OPEC と協力し、原油生産調整に取 り組む用意があるとしたことで、原油価格が上昇しリスクオンの流れのな か、ドル/円は上昇した。11 日は、アルコアの決算が失望売りを誘い NY ダ ウが下落したことを受け、米長期金利も上下に動きドル/円も連動したが、 結局は反落した。12 日は、FOMC 議事録(20-21 日分)で利上げを確実視 できる内容ではなかったが、米長期金利が下げ渋りドル買いが再開され、目 先のストップロスを巻き込みながら上げ幅を拡大した。13 日は中国の貿易 収支が予想外に弱い結果を受けて世界経済の先行きへの警戒感が高まり、ド ルは失速した。14日は、底堅い展開だったが、NY 時間帯に株価の失速で一 時103.80円付近まで下げる場面があり、上値の重さも目立った。

#### ■今週の注目点:市場の関心事は来年以降の米利上げへ

今週は上値の目途として注目されていた9月2日高値104.32円を上抜けた ことで買いが強まる場面もあったが、103円台に失速するなど勢いが継続し なかった。ただ、下値を切り上げていることから、売り倒すような地合いに もなっていない。注目は、17日の日銀支店長会議で、過度な悲観論が後退 し、追加金融緩和の様子見が示唆されるようなら短期的な円買い材料とな る。ただ、FRBによる12月利上げの地ならしがドルを下支えする反面、市 場の関心事は来年以降の利上げ日程や回数、利上げの残存幅に移行し始めて いる。そのため、FRB メンバー講演で来年以降の超緩慢な利上げ姿勢が協 調されるとドルの上値余地が狭まる可能性がある。米企業の決算が本格化し ているが、先行のドル高や原油高の懸念から、先行き見通しを下方修正して くるようだと高値圏で推移している NY ダウの下落調整局面が警戒される。 中国リスクも高まっていることから 19 日の中国 GDP には注意が必要。



下落局面で 75 日線が下値支持となるか



#### ★今週の気になる出来事

今年のノーベル文学賞に米国のシンガ ー・ソングライターのボブ・ディラン氏 が受賞した。今年こそは村上春樹氏が受 賞すると見ていただけに私的にはちょっ としたサプライズとなった。こうなった ら、来年は『防人の詩』をもって、さだ まさし氏に受賞してもらいたい。ボブ・ ディラン氏ならソニーであるが、週末は 11 円高と何事もなかったような株価だっ た。一方で、文教堂グループ HD はスト ップ安 (16.39%)、丸善 CHI は 19 円安 (4.99%) と散々な結果。朝刊みて吹っ 飛んだ投資家もいたのでは!

#### ■テクニカル的な見解:4週連続陽線引けとなるかが注目!

10月11日付のシカゴ IMM 投機筋の対米ドルの差し引き持ち高で、円は前週の+68,695 から+45,909 へと円の買い持ち 高は前週から大幅減少となった。パラボリック (パラメータ:0.08、0.3) では、29 日からの買転を継続、週明け103.31 円まで下落なら売転に。MACD (パラメータ:12、26、9)では、ゴールデン・クロス維持しながらもかい離は僅かに縮 小ぎみ。ストキャスティクス・スロー (パラメータ: 14、3、3、20、80) では、%K と%D は買われ過ぎ域から%K と%D が横ばいに。今年に入ってから常に 75 日線が上値抵抗ラインとなっていた、一旦上抜けしたことから 75 日線が下値 支持ラインになるかが焦点だ。75日線は102.50円に位置している。3週連続陽線となり、4週連続陽線となるかが焦点 となる。ただ、今年は連続陽線後に大陰線となることが多いので注意。今週は1ドル=102.00-105.20円を想定する。

商号:株式会社フジトミ

金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者:農林水産省指令 22 総合第 1351 号,経済産業省平成 22·12·22 商第 6 号加入協会:日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

- ■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。
- ■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

【くりっく365-為替証拠金基準額の算出方法】

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式:為替証拠金基準額=取引単位(元本金額)×4%×(5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

## 【価格変動リスク】

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があり、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

#### 【レバレッジリスク】

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスク その他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について 必要となる証拠金の最大 2 5 倍までのお取引を行うことができます。

#### 【信用リスク】

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、 全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の 信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するま での間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

#### 【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

#### 【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

### 【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や受払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

#### 【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差(スプレッド)があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況(天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等)によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

### 【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

# 【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、 お客様の意思に関わらず、当社はお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済 注文(ロスカット注文)の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

#### 【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではございません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

# 【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替 証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第37条の6の規定の適用対象とはなりませ んので、ご注意ください。

※くりっく365は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。